



第3部

今後の展望



- 1 すべての想定外を想定内へ
- 2 女性消防職団員の活躍
- 3 指導救命士制度
- 4 東京2020オリンピック・パラリンピック
- 5 未来へ羽ばたけ！新人消防士
- 6 子どもたちの夢を乗せて

すべての想定外を想定内へ

官民協働で災害対応力の更なる強化

平成29年12月 (株)誠行社 様から寄贈を受け消防ドローンを配備



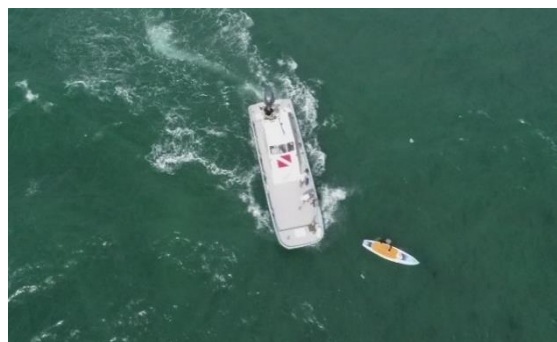
ドローン寄贈式



ドローン飛行訓練



上空からの火勢の確認



漂流者の捜索

「新たな消防活動のツール」として、消防ドローンを積極的に活用しています。

ドローンの持つ機動力は、現場状況の的確な把握と初動体制が重要となる災害、消防、救助活動に最適とされ、新たな消防活動が期待できます。

協定による災害対応力の強化

官民協働で人命救助



平成30年3月、湘南海上安全協会と覚書を締結し官民連携により水難災害の対応力を強化しました。



令和2年11月、マリンレジャー関連の民間事業所6機関と協定を締結し、災害対応力の更なる強化を図りました。

海のあるまち 返子 水難事故での死傷者数「0」を目指して

広範囲な海域等での水難事故において、民間の関係機関が保有する水上オートバイや救助艇等の各種船舶を活用しながら、官民が協力して迅速かつ的確な救助活動をするにより、水難事故での死傷者「0」を目指していきます。

返子海岸で実施した合同訓練の様子



溺れた要救助者を水上バイクで救出



救出した要救助者を海岸のライフセーバーのもとへ



ライフセーバーによる心肺蘇生



防波堤からアプローチする救助隊



消防広域連携

かながわ消防

大規模災害が発生した場合には、逗子市の消防力のみでは対応が困難となることが予想されます。神奈川県では、政令指定都市を含めた県内全ての消防本部による広域応援体制を構築しています。

災害発生時には、県庁に知事を本部長とする神奈川県消防広域運用調整本部（略称：かながわ消防）を設置し、県と県内消防本部が一丸となって消防応援活動を行います。

今後も、多様化する災害に対応するため、県内消防本部との連携を強化していきます。



集結訓練



放水訓練



大規模災害対応訓練



横浜市消防局航空消防隊 合同訓練

要救助者のピックアップ



誘導訓練



ピックアップ準備



葉山町消防本部 合同訓練



水難事故を想定した訓練

災害現場での連携活動

鎌倉市消防本部特別救助隊と人命検索



鎌倉市消防本部特別救助隊の地中音響探知機を活用した現場

女性消防職団員の活躍



今後の活躍推進に向けて

女性消防職団員について

逗子消防では、平成18年4月1日に消防本部初となる女性職員を、平成28年10月1日には消防団初となる女性団員を採用しました。

令和2年4月現在で、消防職員4名、消防団員4名、事務員1名の女性が活躍しています。消防職団員全体に占める女性の割合は、まだまだ少ない状況です。今後も女性特有のソフトな面を生かし、災害時の後方支援や消防団員募集活動、啓発活動などを行っていきます。



放水訓練



救急機関員(運転手)



ビデオ喉頭鏡による気管挿管訓練



火災予防広報活動

災害現場で活動する消防隊や救急隊、火災の予防に関する事務、現場活動や職員を支える事務など、様々な業務を通じて市民の安心・安全に貢献しています。



総合防災訓練



ガソリンスタンドの検査



あおいうみ!



みどりゆたかな!



いわとし!



執務中の様子



逗子警察署で開催された女性会議



消防出初式



女性団員でパシャリ！



子育てと仕事を両立しながら、女性だからできること女性しかできないことを様々な分野で発揮したいと思います。
女性が働きやすい、活躍できる、そんな職場環境を作るのが今後の目標です。

消防予防課 甲木 亜美

消防団を活気のあるものにしたいです。女性ならではの活動を考え実行に移していきたいと思います。
とにかく「逗子が好き！」という気持ちがある方は是非入団してください。



第8分団 瀧沼 麻衣

女性の力を最大限に活用して組織の活性化を推進することが重要課題であり、逗子市としても女性消防職団員の更なる活躍に向けた取組を強化していくとともに、女性消防職団員が生き生きと職務に従事できる職場環境づくりを目指していきます。



指導救命士制度



救急救命士の生涯教育のこれから

指導救命士とは

「神奈川県メディカルコントロール（MC）協議会指導救命士制度運用要綱」に基づき、参画消防本部の救急業務における教育指導体制を充実させること及びメディカルコントロール協議会との連携強化、円滑化により、救急業務全般の質を向上させることを目的として指導救命士が誕生しました。



神奈川県MC協議会が定める肩章

救急救命士の生涯教育

救急救命士のスキル向上・維持のため、生涯教育として年間64時間の再教育を行っています。その内48時間を、救急救命士再教育病院実習として病院に出向し実習を行っています。

三浦半島地区メディカルコントロール協議会では、指導救命士が行う教育・訓練をその内の2日間に充てる試行運用を令和2年度に開始しました。これは全国でも初の試みです。



指導救命士養成研修・座学



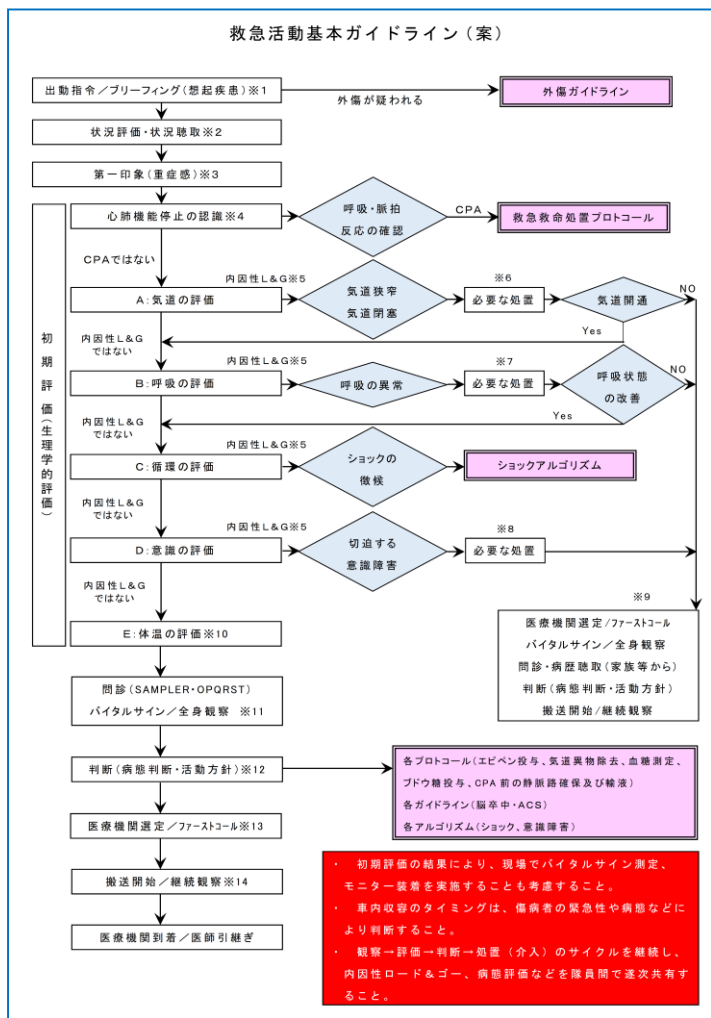
指導救命士養成研修・実技



指導救命士が行う教育訓練

三浦半島地区の指導救命士が中心となり「救急活動基本ガイドライン」を作成し、ガイドラインに基づく救急活動を行うための訓練を実施しています。

救急活動基本ガイドライン



指導救命士による訓練



今後の展望は、三浦半島地区全体の統一した活動のため、指導救命士による教育を中心に、新規救急救命士の指導救命士隊への同乗実習や、指導救命士による再教育が実施できるようにしていきます。

逗子市で指導救命士第1号
遠藤 剛 救急隊長



救急活動件数の増加、高齢化の進展が見られる中、救急救命士による現場での処置は格段に増加し、現場では常に考えながら迅速かつ的確な活動が求められます。

指導救命士による救急現場の実践的な教育、いわゆる救急現場学の指導体制を充実させ、三浦半島地区メディカルコントロール協議会との連携を密にし、救急業務全般の質の向上を図っていきます。

東京2020 オリンピック・パラリンピック

競技大会に向けた取組み

逗子市ではスペインセーリングチームの
事前キャンプを受け入れています。



過去のオリンピックでも数々のメダルを獲得しているスペインセーリングチームは、東京大会でもメダル獲得を狙う強豪国です！

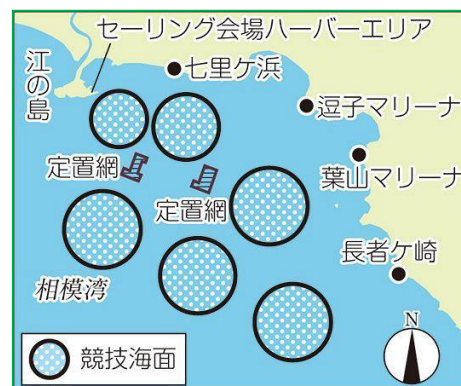


市民との交流



江の島セーリング競技における遠い海面での救急搬送について

逗子市消防本部は、セーリング競技中、海上等で災害が発生し、発災場所が横須賀市や葉山町の沖合いなど、江の島会場から遠距離となる場合に、逗子マリーナを帰港場所として、傷病者対応する協力体制を整えています。



※ 新型コロナウイルス感染症の世界的流行の状況が継続的に悪化していることを鑑み2020年7月の開催は、史上初の大会延期となりました。なお、名称はそのまま「東京2020オリンピック」を使用しました。



未来へ羽ばたけ！ 新人消防士

～ 消防人としての第一歩 ～

新人消防士3名の奮闘記

本署 警備第二課 廣田 達昭 / 北分署 警備第二係 渡辺 拓登 / 北分署 警備第一係 高柳 諒士

令和2年4月1日に採用された新人消防士たちが、災害現場に必要な「知識」、「技術」及び「体力」を身につけるため、日々奮闘しています。

地理、消防水利などの消防士として必要な知識のほか、資機材の取扱訓練や放水訓練などで消防の技術を学び、様々な災害現場に対応できる体力を身につけています。



左から 廣田 達昭・渡辺 拓登・高柳 諒士



ホースカー取扱訓練

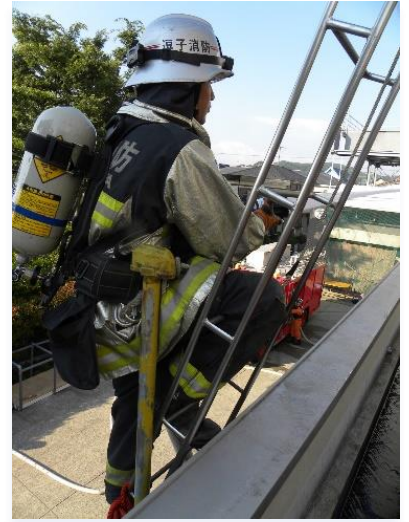
目指せ！ 一人前の消防士！

令和2年4月に消防士を拝命し、半年以上の現場経験を積んできました。しかし、まだまだ一人前には程遠く、一人前の消防士になるための基礎を築くため、それぞれが目標を持って取り組んでいます。

新人消防隊員教育 建物火災想定訓練



防火衣装が様になってきました



高所作業も勇気を出して



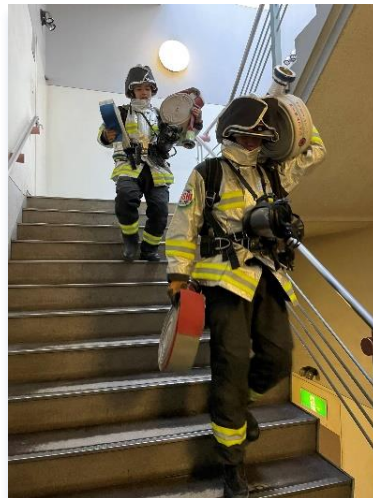
放水訓練

無限大の可能性

30年後の発足100周年を迎えるときには、隊員それぞれが持っている「可能性」の部分を広げ、それを現場で生かしていけるような環境づくりをしていくとともに、市民の方々から更なる信頼、信用をいただけるよう取り組んでいきます。



三連はしご取扱訓練



ホース搬送訓練



結索訓練



廣田 達昭 消防士

父を見て思い、そして決意。

消防士である父に憧れるとともに、人を助ける仕事に就きたいと思い消防士になりました。

採用されてから月日が経ち、いくつかの現場を経験するにつれて、責任感と協調性の大切さを知りました。消防士は、知れば知るほど誇れる仕事です。



あおいうみ！



みどりゆたかな！



いわたしー！

子どもたちの夢を乗せて

逗子市消防本部・消防団発足70周年記念事業

ミニ消防車

子どもたちの笑顔のため、職員が真心をこめて自作しました！



名称:ずしこども1

シャーシ:YAMAHAゴルフカー 機装:消防職員

全長:約4メートル 全幅:約1.3メートル

全高:約2メートル 乗車定員:5名 動力:ガソリンエンジン

ついに完成！
子どもたちのもとへ出動！

令和2年5月、株式会社葉山国際カンツリー倶楽部様からゴルフカーを譲り受け、ミニ消防車(通称:「ずしこども1」)を製作しました。

History ずしこども1ができるまで



解体して...



成型して...



塗装して...



組立てて...



火災予防フェアなどのイベント時に**出動**します。

第3部